

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

丸全昭和運輸株式会社（証券コード:9068）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

■格付事由

- 京浜地区を中心に事業展開する物流大手。顧客の物流業務全般を請負う 3PL 業務に強みを持つ。化学業界を中心に、幅広い顧客との長期かつ安定的な取引関係を構築している。貨物自動車輸送や港湾輸送などを行う物流事業のほか、構内作業及び機械荷役事業、建設業や不動産業などを展開している。主力の物流事業は売上高の 84.4%、営業利益の 76.1%（18/3 期）を占めている。
- 業界特性に応じた独自の 3PL システムが競争優位の源泉となっており、一括請負業務の受注拡大や新規顧客の獲得に寄与している。特定業界の業況変化の影響を受けやすいものの、近年、電子部品業界など他業種の荷主の取り込みも進んでいる。今後も既存顧客に対する 3PL 事業の拡大や新規顧客の獲得などにより、堅調な業績推移が見込まれる。倉庫の新增設を中心とした設備投資が計画されているが、営業キャッシュフローで吸収可能な水準とみられ、当面良好な財務構成を維持できると考えられる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 19/3 期経常利益は 72 億円（前期比 6.1%増）の計画。人件費等の上昇はみられるものの、増収により吸収できている。足元の事業環境に大きな変化はみられず、19/3 期を最終年度とする第 6 次中期経営計画の定量目標（経常利益 62 億円）の達成確度は高い。20/3 期以降も安定した顧客基盤を背景に業績は堅調に推移する見込みである。
- 19/3 期第 2 四半期末の自己資本比率は 65.8%であるなど財務構成は良好である。堅調な業績を背景に自己資本の蓄積が進んでいる。次期中期経営計画の詳細は未定だが、既存の 3PL 事業の拡大とともに、新規事業や海外事業の強化を進めていくものと考えられる。このため比較的高水準の投資が予想されるものの、営業キャッシュフロー見合いとなる見込みであり、有利子負債残高は現状程度で推移する可能性が高い。M&A も想定されるが、引き続き一定の財務規律に基づいた投資が維持されるものとみられる。

（担当）加藤 直樹・坪井 悠祐

■格付対象

発行体：丸全昭和運輸株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
130%コールオプション条項付第 5 回無担保転換社債型新株予約権付社債（期中償還請求権及び転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付）	50 億円	2014 年 3 月 4 日	2019 年 3 月 29 日	利息を付さない	A-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年12月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「陸運」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 丸全昭和運輸株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル